

# 平成 28 年度 事業報告

# I. (公1) 軟式野球大会開催事業

## ア. 軟式野球大会開催事業

### 1. 各種軟式野球大会の開催

下表のとおり、事業を終了した。

大会名	会期	会場	参加 チーム数	優勝
天皇賜杯第71回 全日本軟式野球大会 ENEOS トーナメント	9月16日(金) ～21日(水)	札幌市他	57	大分県・株式会社 大分銀行
高松宮賜杯第60回 全日本軟式野球大会	1部 9月9日(金)～ 12日(月)	今治市他	32	愛媛県・オール愛媛
	2部 10月14日(金) ～17日(月)	宇都宮市他	32	千葉県・空挺ブルーレンジャーズ
高円宮賜杯第36回 全日本学童軟式野球大会 マクドナルド・トーナメント	8月7日(日) ～13日(土)	新宿区他	51	大阪府・長曽根ストロングス
文部科学大臣杯第7回 全日本少年春季軟式野球大会	3月25日(金) ～28日(月)	静岡市他	32	高知県・明德義塾中学校
第1回全日本中学女子軟式野球大会	7月29日(金) ～8月1日(月)	京都市他	36	大分県・オール大分ガールズ
第33回全日本少年軟式野球大会	8月14日(日) ～18日(木)	横浜スタジアム	16	石川県・星稜中学校
第71回国民体育大会 (希望郷いわて国体)	成年男子 10月1日(土) ～5日(水)	洋野町他	32	神奈川県・陸奥トキアスラム横浜
第38回 東日本軟式野球大会	1部 6月17日(金) ～20日(月)	敦賀市他	28	愛知県・三菱重工名誘
	2部 5月20日(金) ～23日(月)	さいたま市他	28	埼玉県・佐藤梱包運輸株式会社
第38回 西日本軟式野球大会	1部 5月20日(金) ～23日(月)	大阪市他	26	鳥取県・養和会
	2部 6月10日(金) ～13日(月)	那覇市他	26	徳島県・株式会社 ユーセイホールディングス
水戸市長旗 第24回東日本軟式野球選手権大会	11月3日(木) ～7日(月)	水戸市他	28	東京都・刈穂ソフトボールクラブ
第20回 西日本軟式野球選手権大会	10月21日(金) ～24日(月)	高知市他	27	奈良県・佐藤薬品工業株式会社
第61回 中部日本都市対抗軟式野球大会	11月11日(金) ～14日(月)	名古屋市	13	愛知県・フタバ産業株式会社
NPB ガールズトーナメント 2016	8月6日(土) ～11日(木)	さいたま市他	35	三重県・三重高虎ガールズ
日本スポーツマスターズ 2016	9月23日(金) ～26日(月)	横手市他	32	愛知県・安城ベースボールクラブ
第38回 全国中学校軟式野球大会	8月19日(金) ～22日(月)	新潟市他	25	石川県・かほく市立宇ノ気中学校
38回 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会	8月5日(金)～ 8日(月)	彦根市他	16	滋賀県・彦根軟式クラブスポーツ少年団

## 国体総合成績（天皇杯得点）

1位	神奈川県	74点	5位	京都府	42点
2位	奈良県	66点	6位	群馬県	34点
3位	静岡県	58点	7位	岩手県	26点
4位	愛知県	50点	8位	大分県	18点

## 2. 寄付金関係

以下のとおり、各団体、企業より寄付を受けた。

- |                     |              |                       |
|---------------------|--------------|-----------------------|
| (1) (公財)日本高野連・朝日新聞社 | 1,000,000 円  |                       |
| (2) (公財)日本高野連・毎日新聞社 | 1,000,000 円  |                       |
| (3) 株式会社 エス・エス・ケイ   | 1,500,000 円  |                       |
| (4) ヤング(株)          | 250,000 円    |                       |
| (5) 株式会社共同写真企画      | 1,000,000 円  |                       |
| (6) NPO 法人神戸草野球リーグ  | 100,000 円    | * 熊本地震義援金指定寄付         |
| (7) 佐川印刷(株)         | 10,000,000 円 | * 全日本中学女子軟式野球大会への指定寄付 |

## 3. 助成金関係

以下のとおり、各団体より助成金の交付を受けた。

- |   |             |                 |
|---|-------------|-----------------|
| (1) 国体派遣役員旅費                              | 1,319,090 円 | 日体協             |
| (2) 選手強化事業交付金（平成27年度分）                    | 600,000 円   | JOC             |
| "                    （平成28年度分）            | 400,000 円   | "               |
| (3) 少年野球振興事業助成                            | 1,000,000 円 | (公財)ミズノスポーツ振興財団 |
| (4) スポーツ普及奨励助成事業                          | 670,000 円   | (公財)スポーツ安全協会    |
| (5) スポーツ振興くじ助成<br>（指導者講習会事業及びドレーピング検査事業分） | 3,005,000 円 | (独)日本スポーツ振興センター |

## 4. 協賛金関係

以下のとおり、各団体、企業より協賛を受けた。（金額は税込表示）

- (1) 日本マクドナルド(株)より全日本学童大会の全国大会、支部大会、マクドナルド・カップ大会を実施した支部への助成金として、総額 54,540,000 円、全日本学童大会撮影費として 1,123,200 円の協賛を受けた。
- (2) J X エネルギー(株)より天皇賜杯大会の全国大会、支部大会への助成金として総額

21,600,000 円の協賛を受けた。

- (3) 全国労働金庫協会より「ろうきん杯」実施支部への助成金として、総額 1,701,000 円の協賛を受けた。
- (4) 全日本学童大会に対し、全国新聞社事業協議会より 2,000,000 円、東京新聞より 1,000,000 円の協賛を受けた。
- (5) ミズノ(株)より全軟連に 500,000 円の協賛を受けた。
- (6) (株)アシックスジャパンより全軟連に 500,000 円の協賛を受けた。
- (7) (一社) 日本野球機構より「NPB12 球団ジュニアトーナメント」への協力に対し 540,000 円、「NPB ガールズトーナメント 2016」への協力に対し 7,020,000 円、「NPB オールスターゲーム」への広報活動協力に対し 540,000 円の協賛を受けた。
- (8) 横浜市より全日本少年大会に助成を受けた。

## 5. 協賛金・助成金交付

- (1) 47 支部に対し、マクドナルド協賛金を総額 13,153,800 円交付した。
- (2) マクドナルド・カップ大会を実施した 26 支部に対し、総額 2,600,000 円交付した。
- (3) 47 支部に対して ENEOS 協賛金を総額 6,320,300 円交付した。
- (4) 天皇賜杯大会開催県の協賛協力金として ENEOS 協賛金を 300,000 円交付した。
- (5) ろうきん杯を実施した 5 支部に対し、総額 1,550,000 円交付した。
- (6) 全日本少年大会に対し、スポーツ安全協会助成金を 400,000 円交付した。
- (7) 中学女子大会出場支部 35 支部に対し、総額 1,750,000 円交付した。

## 6. ドーピング検査の実施

以下 3 大会にてドーピング検査を実施し、全て陰性であった。

- (1) 第 71 回国民体育大会 (4 検体)
- (2) 天皇賜杯第 71 回大会 (8 検体)
- (3) 水戸市長旗第 24 回東日本軟式野球選手権大会 (4 検体)

## イ. 審判員等養成事業

## 1. 全国技術指導員研修会及び全国技術研修員講習会の実施

下表のとおり、事業を実施した。

名 称	期 日	場 所	参 加 者		修了者
北海道・東北地区 技術指導員研修会	3月5日(土)～2日間	宮城県・仙台市	審判技術指導員	19名	
関東地区 技術指導員研修会	3月5日(土)～2日間	埼玉県・さいたま市	審判技術指導員	28名	
北信越・東海地区 技術指導員研修会	3月5日(土)～2日間	岐阜県・大垣市	審判技術指導員	32名	
近畿・中国・四国・九州地区 技術指導員研修会	3月5日(土)～2日間	岡山県・倉敷市	審判技術指導員	65名	
技術研修員講習会	2月26日(金)～3日間	埼玉県・さいたま市、川口市	審判技術研修員	32名	7名

## 2. ブロック審判講習会の実施

下表のとおり事業を実施した。

ブロック	会期	会場	受講者
北海道	5月20日～3日間	北海道・網走市	35名
東北	3月19日～3日間	福島県・福島市	37名
関東	3月18日～3日間	千葉県・富里市	40名
北信越	10月21日～3日間	福井県・福井市	34名
東海	11月19日～3日間	三重県・桑名市	20名
近畿	11月18日～3日間	大阪府・大阪市	36名
中国	3月25日～3日間	広島県・広島市	38名
四国	10月8日～3日間	高知県・高知市	21名
九州	3月19日～3日間	長崎県・長崎市	16名
指導員研修員数	北海道、栃木、東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫各5名(一般登録2千以上) 茨城、群馬、埼玉、千葉、長野、静岡、岐阜、広島各4名(一般登録1千以上) 他各3名		

## ウ. 公式軟式野球規則制定・頒布及び公認野球規則頒布事業

### 1. 競技者必携

支部その他に、65,165部を有償、無償で35部を頒布した。

### 2. 公認野球規則

支部、その他に51,837部を有償、無償で26部を頒布した。

## II. (公2) 軟式野球競技を普及するための助成及び広報事業

### ア. 各種軟式野球大会普及促進助成事業

#### 1. 関係団体助成金

軟式野球競技普及に対する助成金として各団体に対し総額 3,650,000 円を交付した。

全日本大学軟式野球協会	1,000,000 円
公益財団法人日本高等学校野球連盟	1,000,000 円
全国高等学校定時制通信制軟式野球連盟	500,000 円
全日本ろう社会人野球連盟	200,000 円
全国官公庁野球連盟	100,000 円
全日本女子軟式野球連盟	250,000 円
全国専門学校野球連盟	250,000 円
全日本還暦野球連盟	250,000 円
アオダモ資源育成の会	100,000 円

#### 2. 各種全国大会等後援関係

軟式野球の全国的な組織を主催者とする団体等に対し、以下の 28 事業を後援した。

- (1) 全日本大学準硬式野球選手権大会、全日本大学選抜準硬式野球大会、全日本大学 9 ブロック対抗準硬式野球大会
- (2) 全国専門学校軟式野球選手権大会
- (3) 全国高等学校軟式野球選手権大会
- (4) 全日本ろう社会人軟式野球選手権大会
- (5) 全国高等学校定時制通信制軟式野球大会
- (6) (公社)少年軟式野球国際交流協会 世界大会、全国中学生軟式野球大会
- (7) 全日本大学女子野球選手権大会
- (8) 全日本女子軟式野球選手権大会、全日本女子軟式野球学生選手権大会 \*共催
- (9) 全国青年大会
- (10) 全日本古希軟式野球大会
- (11) 全日本シニア軟式野球選手権大会
- (12) 全日本実業団野球全国大会
- (13) 全日本選抜還暦軟式野球大会、全日本還暦軟式野球選手権大会
- (14) (一財)世界少年野球推進財団 世界少年野球大会
- (15) 高野山旗学童軟式野球選手権大会
- (16) 毎日新聞社 くりくり少年野球選手権大会
- (17) 親と子どものふれあいつスペースボール大会
- (18) 全国官公庁野球大会
- (19) 15U 全国 KWB 野球選手権大会 in 伊豆、15U 全国 KWB 野球秋季大会(男子の部・女子の部)

- (20) 水戸市長旗東日本少年軟式野球大会
- (21) ダイワハウス全国少年少女野球教室
- (22) ゼビオドリームカップ 2016
- (23) 全国ガス野球大会
- (24) ポップアスリートカップ学童軟式野球全国大会
- (25) 阿波おどりカップ全国学童軟式野球大会 2015
- (26) 筑後川旗西日本学童軟式野球大会
- (27) 日本プロ野球OBクラブベースボールウィンターキャンプ
- (28) 全国 500 歳野球プレ大会

## イ. スポーツ指導者養成事業

### 1. 日本体育協会公認コーチ養成軟式野球専門科目講習会

受講生 56 名（専門科目修了者は 52 名）を集め実施し、全日程を終了した。

前期：11 月 11 日（金）～13 日（日） 東京都渋谷区

後期：12 月 10 日（土）～11 日（日） 神奈川県横浜市

### 2. 助成金

日体協より、スポーツ指導者養成事業交付金（H27 年度分）として 158,750 円、公認コーチ養成専門科目講習会委託金（H27 年度分）1,229,644 円の助成を受けた。

### 3. 成長期のスポーツ障害予防・指導者講習会

成長期のスポーツ障害予防・指導者講習会として、チーム指導者及び連盟役員に対し下表のとおり実施、1655 名が受講、修了した。

	開催地	日程	会場	受講者数
北海道	帯広	1 月 31 日（日）	帯広の森コミュニティセンター	82
東北	福島	2 月 14 日（日）	福島県青少年会館	122
関東	埼玉	2 月 20 日（土）	「ウイングハット春日部」	103
北信越	石川		2015 年 12 月 6 日（日）実施済	281
東海	三重	2 月 7 日（日）	高田会館 大ホール	140
近畿	京都	2 月 28 日（日）	京都テルサ 東館 2 階セミナー室	64
四国	香川	2 月 28 日（日）	高松テルサ	43
中国	島根	1 月 24 日（日）	出雲市民会館	31
九州	長崎	1 月 16 日（土）	長崎県立総合体育館 大研修室、武道場	171
東京	東京	1 月 30 日（土）	国立オリンピック記念青少年総合センター	114
岐阜	岐阜	2 月 7 日（日）	岐阜市北部コミュニティーセンター	401
大阪	大阪	3 月 19 日（土）	大阪市浪速区民センター	103

## ウ. 広報活動事業

### 1. 連盟創立 70 周年記念史発刊および記念式典

連盟の歴史と活動の記録をまとめ、70周年記念史を発刊、資料編（DVD）として、70年間の大会記録(トーナメント表)を検索可能にした。

各支部の10年以上永年勤続表彰者に対し、表彰状を贈った。

12月1日（木）、東京ドームホテルにおいて70周年記念表彰式を行い、特別表彰として、各支部の永年勤続表彰者のうち、50年以上の勤続者を表彰。その他、外部の関係者、関係団体、商工会加盟社を表彰した。

また、表彰式後、東京ドームホテル「天空」において名誉総裁 高円宮妃久子殿下のご臨席を賜り、祝賀会を行なった。（15時30分～17時30分）。

式典の列席者に対して、70周年記念史を配布した。事業費総額 39,538,515 円。

### 2. 連盟ホームページの活用

例年に引き続き、各種全国大会において試合速報を配信して、迅速な対応を図った。

### 3. 学童向け広報誌の発行

ベネッセ・コーポレーションの協力を得て、学童向けの広報誌を1回発行、各都道府県支部の協力のもと、学童登録チームへ配布を行った。また、配布に際し、広報活動事業に対して5,239,074円の協賛を得た。

### 4. Facebook による情報発信

各種大会、組み合わせ抽選会、講習会等の連盟の事業活動を、HPによる発信を補完する形で、これまで以上に迅速な情報発信を行った。

### 5. 少年春季大会における動画配信

博報堂 DY メディアパートナーズの協力を得て、少年春季大会のインターネット動画配信を実施し、1,420,000円の協賛を得た。

## Ⅲ. (収1) 野球用具検定事業

### 1. 公認用具の普及

全国高等学校軟式野球選手権大会へ使用球 10 ダースを提供した。また、公認ボールの普及促進のため、支部公認球購入費助成として2,494,995円を交付した。



## IV. (収2) 不動産賃貸事業

軟式野球会館の軟式野球会館の1階、2階、5階スペースを賃貸。  
賃貸料等収入 17,293,080円

## V. (収3) 物品販売事業

役員帽子、ベルト、ワッペン等の制定物品を販売。  
制定物品販売高収入 4,163,448円

## VI. その他連盟が推進する事業・活動

### 1. 職業野球退団者の本連盟復帰者

支部より14名の申請があり、資格審査の結果全員復帰を認めた。平成28年12月末までの復帰者総計14名。(40歳以上も含む)

No.	支部	氏名	最終球団
518	宮崎	安田 圭佑	福岡ソフトバンクホークス
519	静岡	森下 宗	広島東洋カープ
520	鹿児島	大谷 龍次	千葉ロッテマリーンズ
521	千葉	尾崎 匡哉	北海道日本ハムファイターズ
522	千葉	佐藤 隆彦	千葉ロッテマリーンズ
523	兵庫	大石 正義	阪神タイガース
524	愛知	北野 勝則	中日ドラゴンズ
525	京都	丹羽 将弥	オリックスバッファローズ
526	東京	木村 謙吾	東北楽天ゴールデンイーグルス
527	佐賀	野中 信吾	オリックスバッファローズ
528	宮崎	金丸 将也	広島東洋カープ
529	神奈川	大場 達也	ヤクルトスワローズ
530	北海道	浅沼 寿紀	北海道日本ハムファイターズ
531	東京	河本 育之	東北楽天ゴールデンイーグルス

## 2. 表彰関係

### (1) 表彰委員会規程による表彰

28年度の功労者（15名）の皆様を本評議員会の席上にて表彰する。

ブロック	人員	受賞者名
北海道	1	奥山 英明(北海道)
東北	2	柴田 勇雄(岩手)・大久保 正樹(秋田)
関東	2	小林 一隆(群馬)・小林 三郎(神奈川)
北信越	1	小柴 武洋(富山)
東海	1	高橋 英武(岐阜)
近畿	2	松井 博孝(京都)・柳田 博實(奈良)
中国	2	高橋 精一(鳥取)・岸 政友(島根)
四国	2	上田 俊典(香川)・奥田 稔(徳島)
九州	2	村川 勇(長崎)・佐保 洋介(大分)
計	15	

### (2) 読売新聞社主催 平成28年度第66回日本スポーツ賞

競技団体別最優秀賞 …………… 株式会社 大分銀行(大分県)

### (3) 旭日単光章 …………… 西澤 茂芳 評議員(長野県)

## 3. 第9回 BFA U12 アジア選手権 日本代表チーム派遣

BFJ と NPB が組織し、推進している侍ジャパン事業の一つとして12歳以下(U12)のアジア選手権大会へチーム派遣を行った。

チーム編成は、支部推薦ならびに一般応募によるデジタルトライアウト、代表監督による全日本学童軟式野球大会の視察を行い、一次選考通過の53名を東西地域に分けてトライアウトを実施し、技術・フィジカル・将来性から最終15名を選出した。

競技結果は、初優勝という最高の成績を残すことができた。仁志監督をはじめとするコーチ陣の指導の下、全国から選ばれた選手たちは野球技術はもちろん、挨拶や礼儀などの立ち居振る舞いにおいても参加チームの模範となり、日本野球の質の高さを体現してくれた。U12 アジア選手権大会において軟式野球ボール使用の必要性について改めて強く感じ、引き続き各関係団体と連携していきたいと考えている。

主催 アジア野球連盟(BFA) 中国棒球協会

会期 12月9日(金)～12月13日(火)

参加チームと成績 (1)日本、(2)韓国、(3)チャイニーズ・タイペイ、(4)中国、

※()は成績 (5)パキスタン、(6)フィリピン、(7)インドネシア、(8)香港

会 場 中国 広東省中山市（パンダスタジアム・東升鎮高級中学野球場）  
団 長 宗像豊巳（全軟連・専務理事）  
監 督 仁志敏久（野球評論家・元巨人ほか）  
コ ー チ 西浦生記（愛媛・日高軟式野球クラブ監督）  
          松下和博（静岡・黒石野球クラブ監督）  
審 判 員 三浦和幸（秋田県 国際審判員）

#### 4. 開発途上国への軟式野球用具の寄贈について

各支部ならびに一般の方々からの協力により集まった野球用具を主に JICA 国際協力機構「世界の笑顔のために」プログラムに参加する形で、11ヶ国に寄贈した。2020年東京オリンピック開催に向けた文部科学省、外務省の「スポーツ・フォー・トゥモロー」プログラムとして、JICA が主となり実施している「世界の野球グローブ支援プロジェクト」に協力する形で高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント会期中に回収ブースを設置し、出場チームからの用具提供を受付けた。野球競技の普及および軟式野球の PR を目的に JICA とも情報共有し、野球途上国へ引き続き用具支援していくこととする。

#### 5. 熊本地震義援金について

4月14日に発生した熊本地震で被害を受けられた地域の復興・活動支援を目的に、4月27日に支部へ義援金の協力を要請した。支部からの義援金総額 1,873,000 円と全軟連から 1,127,000 円（NPO 法人神戸草野球リーグからの指定寄付 100,000 円含む）を拠出し、熊本県へ 200 万円、大分県へ 100 万円を交付した。